



よく引く



みんながヨッシーが釣ったよ

船長  
ありがとう！

▲ヨッシーにサワラがヒットし、船長がタモを持って駆けつける

▲サワラを取り込み船長とハイタッチ



よっしゃー!!  
バレなくて  
よかった

ヨッシーこと吉岡進がルアー釣りを中心に色んな釣り物を狙い、毎回釣りの楽しさを伝えていく「Enjoy Every Fishing」(略してE2F)。第7回はキャストイングで狙う東京湾のサワラ。サワラを主体にタチウオやイナダ、シーバスなどが釣れるがとくに今秋はサワラの群れが濃く、例年と比べてサゴシ(サワラの若魚)もよく釣れている。またまた暑さが残る9月下旬に釣行



このルアーで勝負!

したのは東京湾奥深川吉野屋のサワラ乗合。高橋船長が向かったのは、ベイト(5センチ前後のカタクチイワシなど)の反応が多く見られる羽田〜浦安沖の水深15〜20メートル前後。

▲ヒットルアーはブレードの付いたシングルフックに替えてサワラ用にチューンしたバンプルズジグTG SLJ40グラム



違う……



▲「この引きはサワラじゃないね」とヨッシー  
◀ヨッシーのファーストヒットは良型のエソ。このあとすぐにサワラがヒットする

# 吉岡進の釣りを楽しく感じるままに 東京湾のサワラ キャストイング

## E2F

Enjoy Every Fishing no.07

撮影◎本誌編集部

東京湾のサワラは  
めっちゃ楽しいよ



**Profile** ◆よしおか すずむ  
1982年生まれ。ヨッシーの愛称で親しまれている。一つテンヤマダイ、ライト系オフシヨアルアーを得意とする。ジャッカルソルトプロスタッフ、シーガーインストラクター。

◆本編(64ページより)は高橋剛が執筆。船釣りの楽しさをヨッシーとともにお伝えします!



▲釣り場は羽田〜浦安沖の水深15〜20メートル前後

▼安全のためアンダーハンドでキャストする

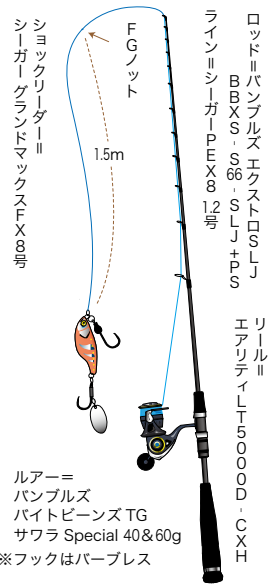


# Enjoy Every Fishing Tackle & Lure guide

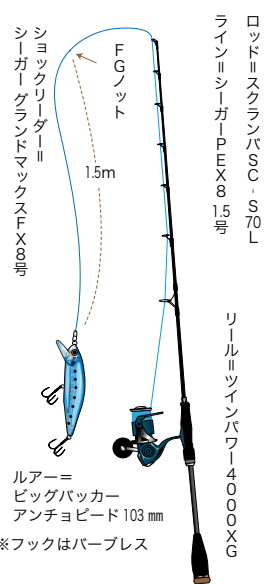
ヨッシーのサワラキャストイングタックル

●ロッドの使い分けはシンキングミノーなどをアクションさせて誘うときはサワラ専用スクランパ。引き抵抗の大きなブレードジグにはバンブルズ エクストロ SLJ。リールはとにかく早く巻けることが重要。シマノならXG、ダイワならXHとギア比が高い4000~5000番がおすすめ。

【ブレードジグ用】



【プラグ用】



シンキングミノー

◀ナブラが起きているときはミノープラグの出番。早巻きやジャークで誘おう

ブレードジグ

◀ブレードジグはサワラ用にチューンされたブレード付きジグやテールスピンジグで、投げて巻くだけで釣れるからビギナーに使いやすい。40~60グラムをそろえておく



◀アタリがくるまでひたすらキャスト&リトリブを繰り返す

▶80センチ級のサワラ。ヒットアワーは40グラムのブレードジグ



よし食った!  
この引きは本命だね



▲投げて巻くだけで釣れるからだれにでもチャンスがある



▲当日は40~50グラムのタンステン製ブレードジグでよく釣れた  
▼バラシのあとのこの1尾は格別



▲今年サゴシ(サワラの若魚)もよく釣れる



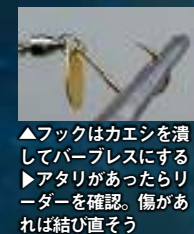
●アタリがきても合わせず巻き続けてパラさないようにする



▲開始早々に船中1尾目のサワラをキャッチ  
◀アタリがなくてもあきらめずに巻き続けることが大事

サワラの釣り方  
ブレードジグが着底したら早巻きが基本

●東京湾のサワラはブレードジグをキャストして着底したら早巻きするのが定番だが、当日のヨッシーのヒットパターンは底からハンドルを10回巻く間に緩急を付けたたり、止めたりして変化を付けていた。



▲フックはカエシを演じてパーブレスにする  
▶アタリがあったらリーダーを確認。傷があれば結び直そう

ポイントに着いてナブラが起きればナブラ撃ちでヒットシーン丸見エのエキサイティングな釣りが楽しめるのだが、この日は時折サワラが跳ねるだけ魚探に映るベイトの反応を見つけてドテラ流して広く探っていく。  
午前9時、ヨッシーのロッドが曲がった。ドラグを効かせて巻き続けて船べりまで寄せ、船長のタモに収まったのは本命サワラ。  
その後も底から10メートル以内で何度かアタリがありヒットしたものの、相次ぐバラシに苦戦する。フックのサイズを替えたりして対応するヨッシー。詳しくは64ページからの本編にて!

巻く速度が遅いとタチウオやイナダ、シーバスが釣れる

●タチウオのアベレージは1メートル級

# 船宿インフォメーション information

東京湾奥深川 吉野屋

☎03-3644-3562  
(詳細は巻末の情報欄参照)

●深川吉野屋のサワラ船は秋から冬にかけての人気メニューで連日盛況。サワラ船(第七吉野丸)の舵を握る高橋郷船長は東京湾のサワラ釣りを熟知しており、ルアー選びや釣り方などていねいに教えてくれるのでビギナーにもおすすめ。気さくで親しみやすいから釣りをしている分からないことがあればなんでも聞いてみよう。

●料金=サワラ乗合一人1万2000円(水付き)

●備考=予約乗合、7時出船。ルアータチウオ、ライトアジにも出船



▲第七吉野丸に乗船。サワラ船は16名限定で出船



▲運河にかかる橋をいくつもくぐり東京湾を目指す  
▼高橋 郷船長(写真左)

